

A decorative graphic featuring a vertical grey line on the left, a horizontal blue line at the bottom, and a diagonal blue line on the right. Five blue circles of varying sizes are arranged in a diagonal path from the top right towards the center. The largest circle contains the text '第3章'.

# 第3章

## 温室効果ガスの 削減対策

現状分析を基に、課題と対策の考え方について整理します（現状分析の詳細は資料編参照）。

表 3-1 墨田区における課題と対策の考え方の整理

	墨田区の現状	課題と対策の考え方
家庭	<p>【地域の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●墨田区の世帯数は堅調な増加傾向。世帯あたり人員数は一貫した減少傾向にあり、核家族化の進展による影響あり</li> <li>●工場跡地でのマンション立地などによる世帯増加が今後も予想される</li> </ul> <p>【温室効果ガス排出状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●世帯数増加の影響から、二酸化炭素排出量も増加傾向</li> <li>●今後も同様に増加していく見込み</li> </ul> <p>【区民の意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地球温暖化問題や、省エネ対策に対する認知度は高い</li> <li>●課題としては、情報不足や家族の協力を得られないなどが挙げられている</li> <li>●情報入手手段は、テレビ、新聞、雑誌・本など</li> <li>●取り組みやすい省エネルギー対策の実施率は高く、取り組みにくい対策の実施率は低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世帯数の増加が見込まれ、世帯あたりエネルギー消費原単位の改善が必要</li> <li>●より正確な普及啓発が必要</li> <li>●区民のライフスタイルの改善を促すと共に、削減技術導入支援を検討</li> <li>●学校教育での普及啓発を検討</li> </ul>
事業者	<p>【地域の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●23区内平均に比較し、小規模事業者の割合が高い</li> <li>●産業部門の従業者数、事業所数ともに減少傾向</li> <li>●業務床面積は増加傾向にあり、新タワー建設の押上・業平橋駅周辺地区をはじめ複数の再開発事業が計画されていることから、今後も床面積は確実に増加していく</li> </ul> <p>【温室効果ガス排出状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●墨田区の産業は二酸化炭素排出量全体の15.5%を占めており、都平均の8.8%よりも大きい。近年、産業部門の中心である製造業は減少傾向</li> <li>●業務は、床面積の増加、原単位の増大などにより二酸化炭素排出量の伸びは大きい。区全体からみたシェアも25.2%と大きく、今後も床面積の増加を背景にさらに二酸化炭素排出量は増加していく見込み</li> </ul> <p>【事業者の意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所での省エネ対策は運用改善が中心であり、設備の更新は比較的消極的</li> <li>●近年の温暖化問題等の認知度の高まりから、省エネルギー意識は高まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後温室効果ガス排出量の増大が見込まれる業務に対し、計画的な省エネルギー対策が必要</li> <li>●運用改善の手法や、短期に投資回収が可能な設備更新などの正確な情報提供が必要</li> <li>●墨田区の特徴である小規模事業者への対策が必要</li> <li>●再開発地区での対策が必要</li> <li>●観光目的で訪れる滞在者への対策を検討</li> </ul>

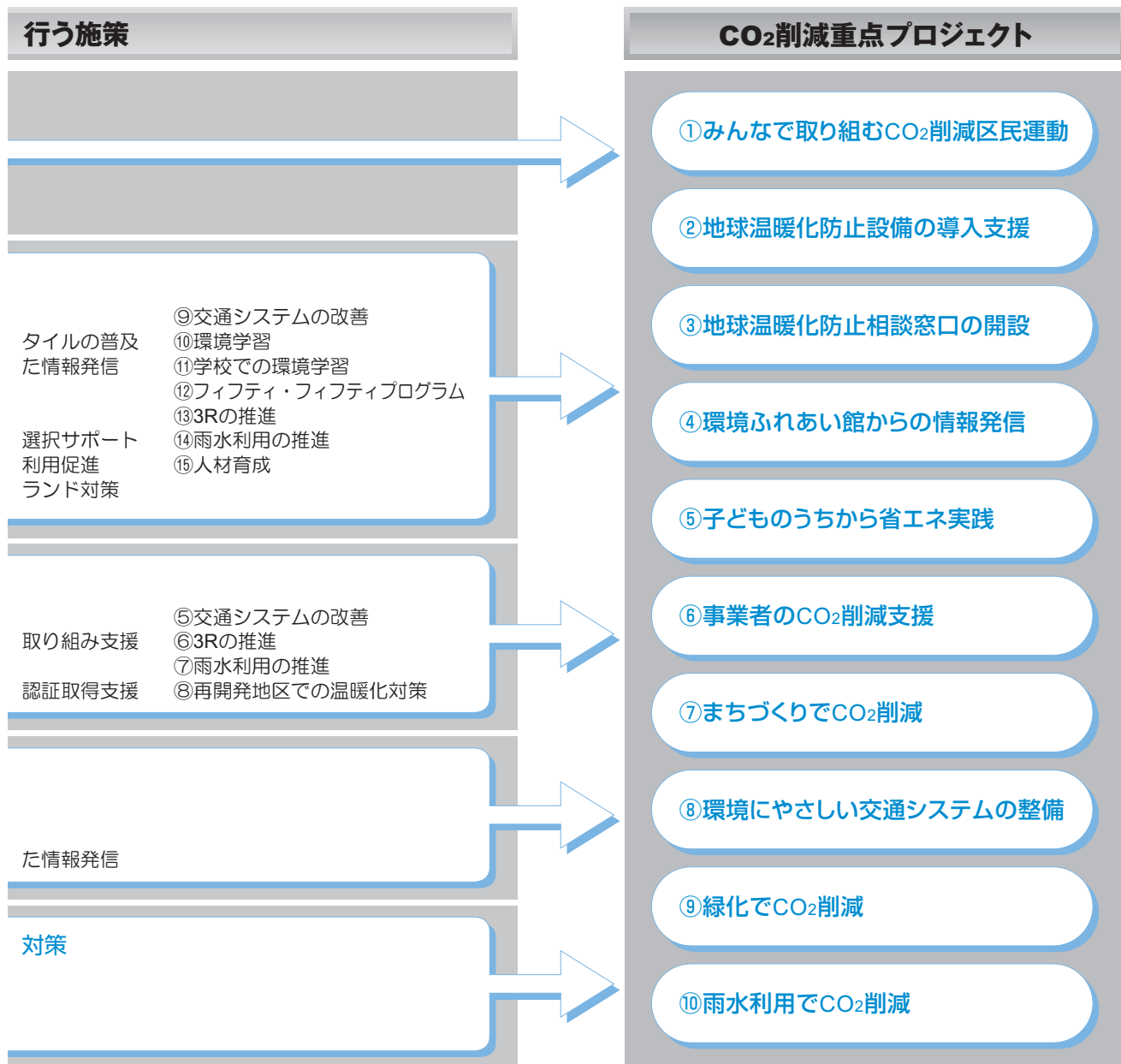
	墨田区の現状	課題と対策の考え方
運輸	<p>【地域の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄道に関しては、これまで都営大江戸線の開通、東京メトロ半蔵門線の延伸、東武伊勢崎線での相互乗り入れなど、利便性が高まっている</li> <li>●鉄道と道路との立体交差化を進める計画が進められており、今後一層交通の円滑化が進展することが予想される</li> </ul> <p>【温室効果ガス排出状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今後の道路整備による交通の円滑化、自動車の単体燃費の向上などにより一層の二酸化炭素排出削減が期待できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車での利用から、環境負荷の低い鉄道等へのシフトを検討</li> <li>●自転車や循環バス等の利用を検討</li> <li>●観光目的で訪れる滞在者への対策を検討</li> </ul>

「第2章 計画の目標」を着実に達成するための、基本方針、削減対策などの体系を以下に整理します。

### 基準年度比8%削減《平成27(2015)年度に

	基本方針	それぞれがとるべき行動	区が
全体	<b>全体の方針</b> 区民・事業者・滞在者・区 の共創により地球温暖化 対策に取り組みます		
区民	<b>基本方針1</b> すべての区民が地球温暖化 対策に取り組みます	<b>(1)区民</b> ①今すぐのできる行動 ②家の新築・増改築時、 家電製品等を買うと きの行動	<b>(1)区民への支援</b> ①区による情報発信 ②省エネルギー型ライフス ③商店街・小売店等を通じ ④省エネ機器の導入支援策 ⑤省エネ等診断事業 ⑥環境にやさしい建築物の ⑦公共交通機関・自転車の ⑧緑化の推進とヒートアイ
事業者	<b>基本方針2</b> すべての事業者が地球温暖化 対策に取り組みます	<b>(2)事業者</b> ①事業者共通の行動 ②製造業での対策 ③オフィスでの対策 ④店舗等での対策	<b>(2)事業者への支援</b> ①区による情報発信 ②省エネ診断・ESCO事業 ③自動販売機対策 ④環境マネジメントシステムの
滞在者	<b>基本方針3</b> すべての滞在者が地球温暖化 対策に取り組みます	<b>(3)滞在者</b> ①観光をするときの行動 ②買い物先での行動 ③滞在先での行動	<b>(3)滞在者への支援</b> ①区による情報発信 ②観光者への交通システム ③ホテル・小売店等を通じ
区	<b>基本方針4</b> 区は率先して地球温暖化 対策に取り組みます	<b>(4)区</b> ①率先行動 ②区有施設、車両での 取り組み	<b>(4)区役所等区有施設での</b> ①率先行動 ②区有施設 ③車両

## おける削減目標》を達成するための施策の体系



墨田区民や区内事業者は、すでに地球温暖化防止、省エネルギー等の意識が醸成されていることから、すべての主体が、地球温暖化対策の取り組みに参加することをめざします。区では、そうした取り組みに参加しやすいようなしくみづくりを進めていくとともに、地球温暖化対策を率先して実践します。

図 3-1 基本方針の概念図

### 全体の方針

区民・事業者・滞在者・区の共創により地球温暖化対策に取り組みます

区民・事業者・滞在者・区の協力と連携

#### 基本方針 1

すべての区民が地球温暖化対策に取り組みます

#### 基本方針 2

すべての事業者が地球温暖化対策に取り組みます

#### 基本方針 3

すべての滞在者が地球温暖化対策に取り組みます

#### 基本方針 4

区は率先して地球温暖化対策に取り組みます

全体の方針 区民・事業者・滞在者・区の共創により地球温暖化対策に取り組みます

- 地球温暖化問題は、地球規模で議論されるため、これまで国の主導で対策が進められてきました。地方公共団体にとっては、地球温暖化による直接の被害は、緊急の課題ではなかったことも対策が遅れていた原因の一つといえます。
- 対策にのっとった省エネ行動を実際に行うのは、国民であり、企業であるため、“Think Globally, Act Locally<sup>9)</sup>”と言われるように、国民、企業との最も距離の近い地方公共団体に多くの役割が期待されるようになりました。
- 本計画もそうした背景のもと策定するものですが、区の力だけではおのずと限界があり、区民や区内の事業者の方々の協力が必要不可欠です。
- 区が、各主体の共創によるしくみをつくり、すべての主体が地球温暖化対策に参加していくことをめざします。

9 この言葉の解釈は様々ですが、ここでは「環境問題は地球的規模で考え、環境対策は身近なところから実践」の意味で用いています。

### 基本方針1 すべての区民が地球温暖化対策に取り組みます

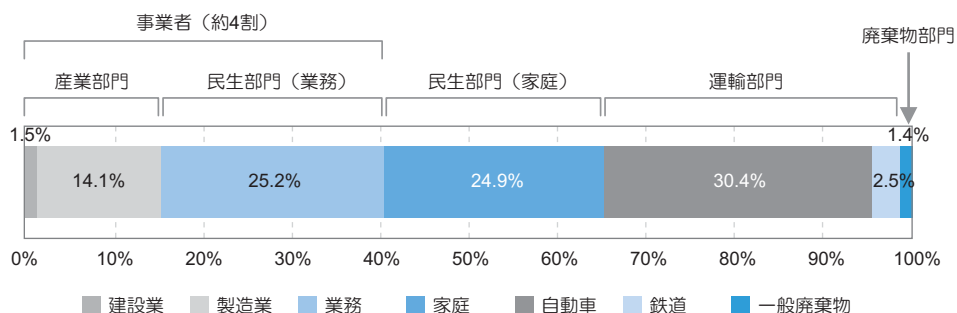
- 墨田区内の温室効果ガスの4分の1は家庭からの排出によるものです。
- ここ15年の間に、少しずつ家庭からの排出量は増えつつあります。
- 現在売られている家電製品や、給湯器などは、エネルギーの効率が向上してきたものの、そうしたエネルギー効率の良い製品を選択して買い換えることや、無駄なエネルギー消費をしない使い方をしなければなりません。
- 今、区民の行動が必要です。
- 一部の区民の行動だけでは、区全体の排出量を減らせません。一人ひとりの行動が、広がりを持ち、多くの人々の行動につながっていきます。
- 墨田区からの温室効果ガスを減らすために、区民全員の取り組みが、その大きな第一歩になります。

### 基本方針2 すべての事業者が地球温暖化対策に取り組みます

- 事業者からの排出は、全体の4割を占めています。さらに、排出量は年々増加しています。
- 墨田区内では、これからも再開発の計画があり、相応の増加が見込まれています。
- 事業者に対しては温室効果ガスの排出に関する規制はありませんが、規模の大きな事業所<sup>10</sup>には削減のための計画書の提出が義務づけられています。
- 上記以外の事業所においては排出量が最も多く、また近年の伸びが大きい事業活動からの排出量を減らしていかなければなりません。
- 「省エネルギーはお金がかかる」というイメージもありますが、設備の運用改善など、工夫次第ではお金をかけずに、省エネルギーとコスト削減を同時に達成することも可能であり、経済合理性の観点を持ちつつ、地球温暖化対策に取り組むことができます。
- 現在最も排出量が多く、年々増加している事業活動からの排出量を減らすには、すべての事業者の行動が必要です。

#### ◆ 墨田区の部門別二酸化炭素排出構成〔平成16(2004)年度〕 ◆

墨田区の部門別二酸化炭素排出構成は以下のようになっています。



10 燃料、熱及び電気の使用量を原油に換算した量が、年間（前年度）1,500 kl以上の事業所

### 基本方針3 すべての滞在者が地球温暖化対策に取り組みます

- 墨田区には、隅田川花火大会や大相撲など江戸時代以来の伝統文化を有し、観光資源に恵まれた町であり、多くの観光客が訪れています。
- 区は新タワーの開発を契機として、国際観光都市として賑わいのあるまちづくりを進めており、今後も国内外からの観光客が大幅に増えていくことが予想されます。
- 墨田区の地球温暖化に対する取り組みについて、観光客など区外の方たちへアピールすることは、環境にやさしい都市としての区のイメージアップにもつながります。
- 環境に優しい交通システムをつくることなど、区外からの滞在者の方たちの環境に優しい行動を誘導するしくみをつくり、区民と同じように地球温暖化の取り組みに参加していただきます。
- 墨田区民も区外においては、区内の滞在者に求めると同様に、環境に配慮した行動をとります。

### 基本方針4 区は率先して地球温暖化対策に取り組みます

- 区民や事業者に求める地球温暖化対策の行動に対し、区は手本となるべく行動をとる必要があります。
- 区有施設でのエネルギーを削減する設備の導入や、省エネルギーのための取り組みを積極的に行っていきます。
- 区民、事業者、滞在者の地球温暖化対策の取り組みを支援するため、“取り組みやすいしくみ”をつくっていきます。



## 4

## 区民、事業者、滞在者、区が取り組むべき行動

全体方針にも掲げている「区民・事業者・滞在者・区の共創」を実現するために、それぞれの主体が取るべき行動があります。平成27（2015）年の目指すべき社会に向け、以下の行動に取り組んでいきます。

ここで、区外から墨田区を訪れる方たちにも、低炭素型の行動を求めます。これは、同時に墨田区民も区外では、低炭素型の行動をとるべきことを示すものでもあります。

## (1) 区民が取り組むべき行動

## ① 今すぐに行える行動

対象	具体的な行動
家電製品などを使うときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定する。</li> <li>◆衣服を調整して冷暖房を控える。</li> <li>◆冷暖房機器は無駄につけっぱなしをしない。</li> <li>◆電気カーペットは部屋の広さや用途にあったものを選び、温度設定をこまめに調節する。</li> <li>◆人のいない部屋の照明は、こまめに消灯する。</li> <li>◆テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにする。</li> <li>◆環境家計簿<sup>11</sup>をつける。</li> <li>◆電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力<sup>12</sup>を少なくする。</li> <li>◆家族が同じ部屋で団らんし、冷暖房と照明の利用を減らす。</li> </ul>
食事や料理、キッチンでの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食材を必要以上に買わない、料理しない。</li> <li>◆旬の食材<sup>13</sup>を購入する。</li> <li>◆産地の近い食材を購入する。</li> <li>◆お湯を沸かすときは給湯器のお湯を利用する。</li> <li>◆生ごみは水気をよく切って捨てる。</li> <li>◆コンポスト容器、生ごみ処理容器を導入する。</li> <li>◆食器洗い乾燥機を使用する時は、まとめて洗い、温度調節もこまめにする。</li> <li>◆洗いものをする時は、給湯器の温度設定をできるだけ低くする。</li> <li>◆冷蔵庫の設定温度は季節ごとに調整する。</li> <li>◆冷蔵庫にものを詰め込み過ぎないようにする。</li> <li>◆冷蔵庫は壁から間隔をあけて設置する。</li> <li>◆冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くする。</li> <li>◆煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用する。</li> <li>◆電気ポットは低温で保温し、必要に応じて再沸騰する。</li> <li>◆電気ポットは夜間など、長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜く。</li> </ul>

11 毎日の生活の中で環境に関係する出来事や行動を家計簿のように記録し、家庭でどんな環境負荷が発生しているかを家計の収支計算のように行うもの。

12 待機時消費電力とは、家電製品をコンセントにつないでおくだけで消費する電力のこと。部屋を暗くしたとき、家電製品にぼつぼつとホタルのように小さな明かりが灯っていれば、それが待機電力の証拠である。エアコン、テレビ、ビデオ、電話などが待機電力を消費する代表的な機器である。

13 消費者が住んでいるそれぞれの地域の自然の中で、適期に適地で無理なく、食べごろに生産されたものであり、新鮮で、栄養分があって、安全で、美味しいもの（社団法人全国野菜需給調整機構より）。

対象	具体的な行動
外出するときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆エコドライブ<sup>14</sup>を実施する。</li> <li>◆アイドリングストップを実施する。</li> <li>◆外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関や、自転車を利用する。</li> <li>◆タイヤの空気圧は適正に保つ。</li> <li>◆無駄な荷物を積んだまま運転しない。</li> </ul>
浴室や洗面所での心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆洗濯する時は、まとめて洗う。</li> <li>◆風呂の残り湯を洗濯に使いまわす。</li> <li>◆お風呂は、間隔をおかすに入るようにして、追い焚きをしないようにする。</li> <li>◆シャワーはお湯を流しっぱなしにしない。</li> <li>◆温水洗浄便座は温度をひかえめに設定し、使わない時はふたを閉める。</li> </ul>
買い物のときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の買い物袋を持っていく。</li> <li>◆包装の少ないものを選ぶ。</li> <li>◆不要なものを買わない。</li> <li>◆服や鞆、靴、家具などエネルギー消費を伴わないものについては壊れたときは修理してできるだけ長く使用する。</li> <li>◆リサイクル商品を購入する。</li> <li>◆洗剤や化粧品などは、中身の詰め替えができるものを選ぶ。</li> <li>◆リターナブル瓶を使う。</li> </ul>
ごみを出すときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ごみの削減、ごみ出しルールを遵守する。</li> <li>◆3R<sup>15</sup>を意識して、ごみの資源回収に協力する。</li> <li>◆家電リサイクル法等を遵守する。</li> </ul>
地球温暖化を知る心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆区が主催するイベントや講座に参加する。</li> <li>◆テレビや新聞、書籍などから地球温暖化に関する情報を得る。</li> </ul>

## ② 家の新築・増改築時、家電製品等を買うときの行動

対象	具体的な行動
家電製品などを新たに買うとき、買い換えるときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆家電製品（エアコン、テレビ、冷蔵庫など）を買い換えるときは、エネルギー効率の優れた商品を購入する。</li> <li>◆冷蔵庫を買うときは、温室効果の無い冷媒を用いた“ノンフロン型”冷蔵庫を購入する。</li> <li>◆エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機を廃棄するときは、「家電リサイクル法」に従い、家電小売店に引き取ってもらう。</li> <li>◆白熱球を電球型蛍光灯に買い換える。</li> <li>◆給湯器を買い換えるときは、効率の優れたタイプのものや、高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）を購入する。</li> <li>◆自動車を買うときはクリーンエネルギー自動車や燃費の良い車を選ぶ。</li> </ul>
家を建てる時、リフォームするときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆省エネルギー型住宅の建築・改築（高断熱、壁面緑化、ロールスクリーンなどを導入）をする。</li> <li>◆太陽光発電システムや太陽熱温水器などを導入する。</li> <li>◆高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）を導入する。</li> <li>◆複層ガラスなど、窓を断熱する。</li> <li>◆省エネナビまたは電圧調整装置<sup>16</sup>を導入する。</li> <li>◆雨水浸透ます、雨水タンクを設置する。</li> </ul>
緑化への心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆緑のカーテン（壁面緑化）や屋上緑化の導入</li> <li>◆敷地内の緑化（ベランダ緑化、植栽、生垣、ガーデニングなど）</li> </ul>

14 エコドライブとは、「環境に配慮した自動車の使用」のことであり、具体的には、やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止めたりなどをして燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素の排出量を減らす運転のこと

15 3Rとは、Reduce（リデュース：減らす）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再資源化）の頭文字をとったもので、ごみを減らし、循環型社会を構築していくためのキーワードである。

16 電力会社では、電力を送電線の末端へ行きわたらせるため、高めの電圧をかけている。そのため実際に必要な電圧（例えば100ボルト）ではなく、102～105ボルトの電力が送られている。自動電圧調整装置は、この電力を100ボルトに自動的に調整する装置である。

## (2) 事業者が取り組むべき行動

## ① 事業者共通の行動

対象	具体的な行動
エネルギー管理など	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆省エネ推進組織を整備（設置）する。</li> <li>◆省エネルギー診断を実施する。</li> <li>◆ESCO<sup>17</sup>を利用するなど省エネルギー改修工事を実施する。</li> <li>◆BEMS<sup>18</sup>（ビルエネルギーマネジメントシステム）を導入する。</li> <li>◆環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21、エコステージ、グリーン経営認証など）を導入する。</li> </ul>
高効率機器の導入や機器の高効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆省エネルギー型の機器・設備を導入する。 （高効率照明及び安定器、高効率変圧器、高効率空調機、業務用コージェネレーション、省エネルギー型自動販売機など）</li> <li>◆空調・給湯熱源の省エネルギー化を図る。</li> <li>◆エレベーター、冷却水ポンプ、熱搬送ポンプなどのインバータ化を実施する。</li> <li>◆太陽光発電、太陽熱温水器、風力発電などの再生可能エネルギーを導入する。</li> <li>◆低燃費車やクリーンエネルギー自動車を導入する。 （自動車を購入する際は、排気量の小さい車、低公害車や燃費のよい車を選ぶ）</li> <li>◆自動車にアイドリングストップ装置を設置する。</li> </ul>
施設・設備の運用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆空調温度を適正に保つ（夏季：28℃、冬季：20℃）。</li> <li>◆窓を開けて外気冷房する。</li> <li>◆電気設備等の適正な運転管理と保守点検を実施する。</li> <li>◆自動販売機の省エネルギー運転を実施する。</li> </ul>
自動車の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自転車や公共交通機関（鉄道・地下鉄・バス）を利用促進する。</li> <li>◆アイドリングストップを実施する。</li> <li>◆エコドライブを実施する。</li> <li>◆タイヤの空気圧は適正に保つ。</li> <li>◆無駄な荷物を積んだまま運転しないようにする。</li> <li>◆車両の維持管理や、定期的な点検・整備を実施する。</li> <li>◆効率的な輸送経路、共同輸送配送などにより物流の効率化を図る。</li> </ul>
3Rの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆産業廃棄物、事業系一般廃棄物の削減と分別を徹底し、リサイクルを実施する。</li> <li>◆産業廃棄物の処理業者、処分ルート、処理方法などについて把握し、不法投棄や不正な処理を防止する。</li> <li>◆飲食店などでは残った食品を堆肥化・飼料化し減量化する。</li> <li>◆代替フロン等を適正に処理する。</li> </ul>
緑化、ヒートアイランド対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆建築物に緑のカーテン（壁面緑化）や屋上緑化を導入する。</li> <li>◆敷地内の緑化（植栽、生垣など）を行う。</li> <li>◆事業所内のオープンスペースへの保水性舗装、遮熱性塗装などを導入する。</li> </ul>
雨水利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆雨水貯留・雨水浸透・トイレなどに雨水を利用する。</li> </ul>
情報発信・収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆温暖化防止の取り組みを公表・PR（環境報告書の公表、ホームページへの掲載、発表会や講習会での講演など）する。</li> <li>◆事業所の周辺住民や区に、事業所の環境に関する情報を発信する。</li> <li>◆環境配慮商品・省エネルギー型商品、先進技術などの展示会へ参加する。</li> <li>◆外注先、関連会社に対し環境対策や省エネルギーの指導を実施する。</li> <li>◆従業員に対する環境教育・指導を実施する。</li> <li>◆グリーン購入・調達を推進（原料や資材は、できる限り再生品を利用）する。</li> </ul>

17 ESCO（Energy Service Company）の略。エスコと読む）事業とは、工場やビルの省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、それまでの環境を損なうことなく省エネルギーを実現し、さらにはその結果得られる省エネルギー効果を保証する事業です。また、ESCOの経費はその顧客の省エネルギーメリットの一部から受取ることも特徴となっています。

18 Building and Energy Management Systemの略で、建物の使用エネルギーや室内環境を把握し、省エネに役立てること。

## ② 製造業での対策

対象	具体的な行動
製品等の製造	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆製造工程の効率化、余分な原料使用の削減</li> <li>◆製品の設計段階から廃棄段階までを考えた商品・製品の開発</li> </ul>
商品開発	◆環境配慮商品・省エネルギー型商品の開発・製造（リサイクル商品、再使用可能商品、省エネルギー機器、長寿命製品など）
啓発活動	◆工場見学の受け入れ（温暖化防止の取り組みを紹介）

## ③ オフィスでの対策

対象	具体的な行動
オフィスでの活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆不使用室の消灯、昼休みの消灯を実施する。</li> <li>◆冬季以外は給湯を停止する。</li> <li>◆夜間、休日は自動販売機を停止する。</li> <li>◆ブラインド等により温度・照明を調節する。</li> <li>◆クールビズ、ウォームビズを実施する。</li> <li>◆不要な印刷やコピーの抑制、両面コピー、裏面利用等で紙使用量を削減する。</li> <li>◆休日及び夜間のエレベーターの運転台数を調整する。</li> <li>◆パソコンをつけっぱなしにしない。</li> </ul>

## ④ 店舗等での対策

対象	具体的な行動
商品・サービスの説明・販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境配慮商品・省エネルギー型商品の紹介及び販売を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家電製品小売 → トップランナー機器など高効率家電</li> <li>・ガス機器販売店 → 高効率給湯器</li> <li>・工務店・住宅メーカー → 高断熱化や高効率給湯器</li> <li>・不動産・住宅メーカー → 高断熱住宅</li> <li>・カーディーラー → 低燃費車、クリーンエネルギー自動車</li> </ul> </li> </ul>
店舗での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆入店客閑散時はエレベーターの間引き運転、エスカレーターの人感センサーを検討する。</li> <li>◆仕入れや販売システムの見直し、余剰物品を削減する。</li> <li>◆過剰な包装・梱包を見直し、できる限り包装を簡素化する。</li> <li>◆レジ袋の削減・マイバッグの推進</li> </ul>

## (3) 滞在者が取り組むべき行動

### ① 観光をするときの行動

対象	具体的な行動
観光をするときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外出時はできるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関や、自転車を利用する。</li> <li>◆アイドリングストップを実施する。</li> <li>◆エコドライブを実施する。</li> <li>◆タイヤの空気圧は適正に保つように心がける。</li> <li>◆無駄な荷物を積んだまま運転しないように気を付ける。</li> </ul>

### ② 買い物先での行動

対象	具体的な行動
買い物のときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の買い物袋を持っていく。</li> <li>◆包装の少ないものを選ぶ。</li> </ul>

## ③ 滞在先での行動

対象	具体的な行動
ホテルなどで過ごすときの心がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆歯ブラシなどを持参し、なるべくホテルの備え付けのものを使わない。</li> <li>◆連泊する際は、浴衣やパジャマ、タオルは替えない。</li> <li>◆シャワーや水道水を流しっぱなしにしない。</li> <li>◆暖房は 20℃、冷房は 28℃を目安に温度設定する。</li> <li>◆衣服を調整して冷暖房を控える。</li> <li>◆冷暖房機器は不必要なつけっぱなしをしないように気を付ける。</li> <li>◆人のいない部屋の照明は、こまめに消灯する。</li> <li>◆テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにする。</li> <li>◆ごみを出さないようにする。</li> </ul>

## (4) 区が取り組むべき行動

「墨田区地球温暖化防止実行計画」に基づき、対策を着実に進めていきます。

## ① 率先行動

対象	具体的な行動
墨田区地球温暖化防止実行計画の着実な推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆省資源・省エネを推進する。</li> <li>◆廃棄物の排出量削減を推進する。</li> <li>◆区が行う建築工事に対し環境負荷を低減する。</li> <li>◆グリーン購入を推進する。</li> <li>◆地球環境の保全を推進する。</li> </ul>
墨田区地球温暖化防止実行計画目標値の達成	◆温室効果ガス削減の目標値を達成（平成 21 年度までに 16 年度比で 3% 削減）する。
墨田区地球温暖化防止実行計画の改訂	◆実行計画の強化を検討する。
エコマネージャー制度の実施	◆職員による区の温室効果ガス削減のための環境管理制度であり、これを着実に進める。
庁舎リフレッシュ計画の実施	◆設備機器を省エネ型の機器へ更新する。

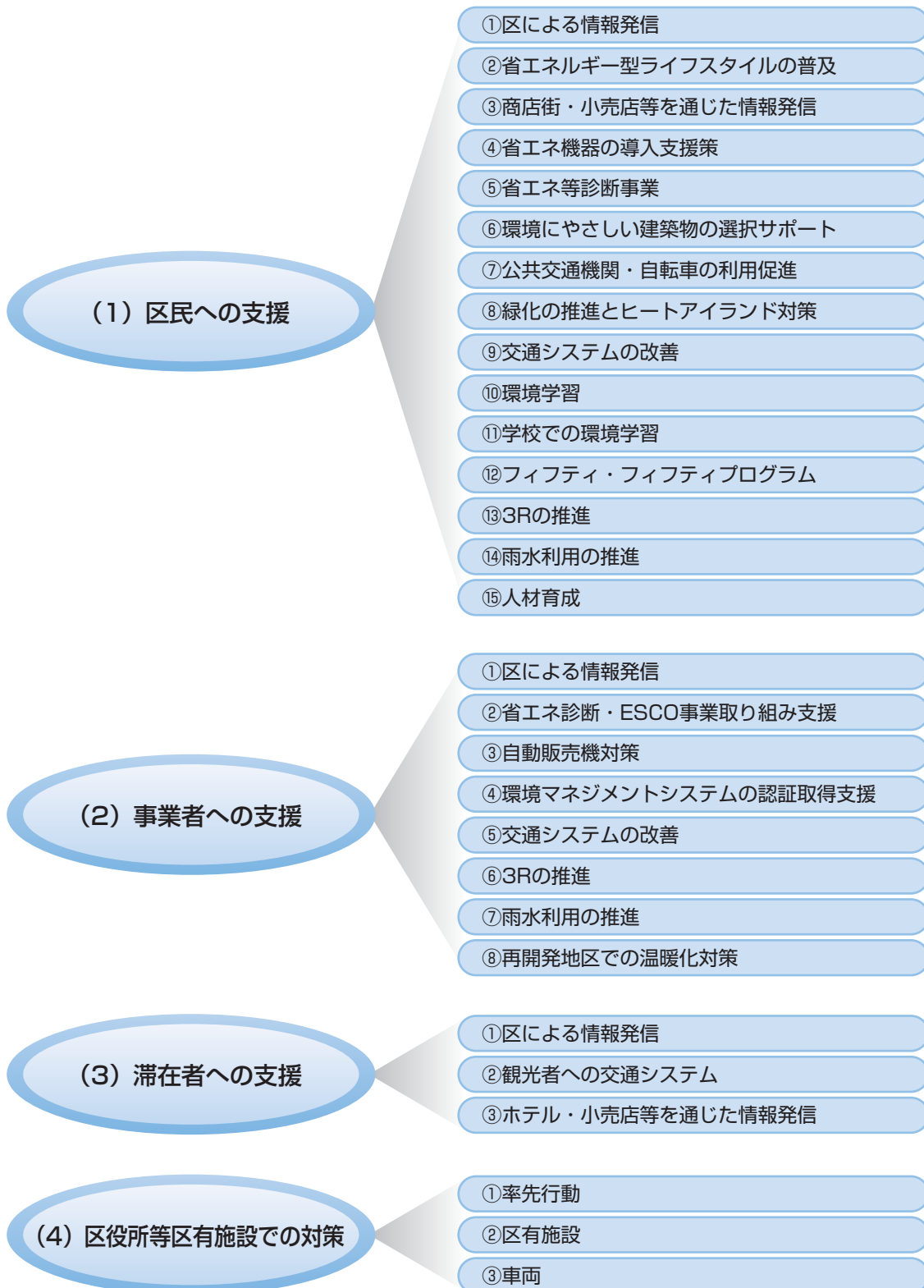
## ② 区有施設、車両での取り組み

対象	具体的な行動
区有施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新規施設の省エネ化</li> <li>◆既存施設設備機器の省エネ改修（ESCO<sup>19</sup> 事業等の検討）</li> <li>◆区有施設からの温室効果ガス排出量の明示</li> <li>◆遮熱性塗装の導入</li> <li>◆立体緑化（屋上緑化、壁面緑化）の導入</li> <li>◆雨水利用導入</li> <li>◆小中学校の校庭の芝生化</li> <li>◆公園緑地の拡充</li> <li>◆道路緑地の拡充</li> <li>◆自然エネルギーの導入</li> <li>◆街路樹の整備</li> </ul>
車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆低公害車の導入を促進する。</li> <li>◆エコドライブを実施する。</li> </ul>

19 ESCO（Energy Service COmpany の略。エスコと読む）事業とは、工場やビルの省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、それまでの環境を損なうことなく省エネルギーを実現し、さらにはその結果得られる省エネルギー効果を保証する事業です。また、ESCO の経費はその顧客の省エネルギーメリットの一部から受取ることも特徴となっています。

区民、事業者、滞在者、区が低炭素社会に向けた行動を取るため、区が実施する施策を以下に整理しました。これらの施策を順次進めていきます。

また、それぞれの施策の内容について説明します。



## (1) 区民への支援

### ① 区による情報発信

墨田区ではすでに、ホームページやパンフレットにて、温室効果ガス削減に向けた普及啓発を実施しています。今後一層の普及啓発のため、以下のような情報提供を充実させていきます。

#### 温室効果ガス削減技術・省エネルギー技術・新エネルギー技術・ヒートアイランド対策技術

- ・家電機器（トップランナー）
- ・住宅（遮熱性塗装、高断熱化）
- ・再生可能エネルギー（太陽光発電、太陽熱利用、風力発電）
- ・低燃費車、クリーンエネルギー自動車
- ・高効率給湯器
- ・緑化 など

#### ライフスタイルや機器の運用

- ・冷暖房の設定温度
- ・家電機器の買い換えとリサイクル<sup>20</sup>
- ・自転車や公共交通機関の利用
- ・アイドリングストップ、エコドライブ

#### 情報源情報

- ・関連団体（太陽光発電協会、ソーラーシステム振興協会）
- ・補助金の情報（高効率給湯器）など

### ② 省エネルギー型ライフスタイルの普及

現在のライフスタイルを省エネルギー型に変えるために、普及啓発だけでなく、現在すすめている制度の拡大などを含め実施し、区民に実践してもらいます。

#### 省エネナビモニター制度

- ・区では、墨田区在住の方を対象に、「省エネナビ」を3か月間使っていただくモニターを募集し、「省エネ型ライフスタイル」を浸透させる事業を展開しています。

#### すみだ環境家計簿

- ・「すみだ環境家計簿」は月1回、電気・ガスなどの使用量から、わが家の二酸化炭素排出量を計算、記録するもので、現在区のホームページからダウンロードにより入手することができます。

<sup>20</sup> 家電製品は「製造～使用～廃棄」といった各段階の中で、使用時におけるエネルギー消費量の割合が高いため、古い機器を長く使い続けると、より多くのエネルギーを消費してしまいます。適切なタイミングで、省エネ型家電製品などに買い換えることが重要です。

### 省エネファミリー制度

- ・省エネナビモニターや環境家計簿を実施した家庭で、省エネルギーを図れた家庭を省エネファミリーに認定しています。

## ③ 商店街・小売店等を通じた情報発信

区民や、区内で働く人々との接点となる店舗において情報発信をすることは、啓発効果が大変高いことが期待できます。以下のように、いろいろな店舗を通じた情報提供を展開することで、販売促進につながることも期待できます。

### 省エネ機器を販売する小売店

- ・都内では、省エネラベルの対象機器を5台以上陳列販売する事業者（特定家庭用機器販売事業者）は、ラベルの表示が義務づけられています。
- ・すでに表示されているこの省エネラベルについて、これをより強調したり、省エネラベルや省エネ性能の説明を積極的に進めたりするなど、店舗による情報提供を進めます。

### 給湯器販売店

- ・家庭でお風呂や食器洗いに使われる給湯による二酸化炭素排出量は、家庭全体の2割強を占めており、この給湯のエネルギー消費を削減することは、家庭の二酸化炭素排出を削減するために大変有効です。
- ・現在、この対策技術として、高効率給湯器（エコジョーズやエコキュートなど）が開発され市販されています。
- ・従来の給湯器より割高ですが、月々の光熱費が安くなるので、こうした情報をガス機器の販売店や、設備施工会社を通じて発信していきます。

### 商店街

- ・商店街を毎日のように利用される方も多いかと思えます。この商店街を核とした、一般的な省エネ情報から、商店街による省エネキャンペーンの実施、商店街で有効なエコポイントの導入などを進めていきます。

### 住宅施工またはリフォーム

- ・住宅の断熱は冷暖房のエネルギー消費をかなり削減できることが、熱負荷シミュレーションなどから分かっています。既存の住宅でも断熱材を入れる方法があり、複層ガラスの設置や夏季の遮蔽（ひさし、ロールスクリーン）などによって、更に効果をあげることができます。
- ・住宅施工会社や、リフォーム業者を通じて、省エネ住宅や太陽熱温水器、断熱のためのリフォーム、設備の紹介などの情報提供を進めていきます。



#### 不動産業者

- ・都内で新築される一定規模以上のマンションに対しては、都で実施している「マンション環境性能表示」により、ちらし広告などで、環境性能を示すラベルの表示が義務づけられています。
- ・建築主や販売受託者は表示に関する説明が義務づけられていますが、住宅を購入する人の最初の窓口になる不動産業者が説明することで情報提供を進めていきます。

#### カーディーラー

- ・車を購入する際の窓口であるカーディーラーを通じて、クリーンエネルギー自動車に対する正しい知識を伝えていきます。

### ④ 省エネ機器の導入支援策

温室効果ガス削減の効果の高い技術や製品などについて、一部は国などで導入支援が進められていますが、今後、墨田区においても導入支援策を整備し、区民や区内の事業者において削減技術の導入を進めていきます。

#### 区による直接補助

- ・高効率給湯器などの省エネルギータイプの製品や、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に際して補助金を交付することを検討します。

#### 省エネ機器や商品の紹介

- ・区で主催するイベントを通じて、省エネルギー効果が高い「電球型蛍光灯」等を紹介します。

#### 国庫補助金等との連携

- ・国の外郭団体であるNEDO※1などと連携し※2、高効率給湯器購入時に助成することを検討します。

(注) ※1 正式名称は、「独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構」であり、NEDOは「New Energy and Industrial Technology Development Organization」の略である。NEDOは、日本の産業技術とエネルギー・環境技術の研究開発及びその普及を推進する中核的な研究開発実施機関である。

※2 NEDOによる「エネルギー供給事業者主導型総合省エネルギー連携推進事業」の活用

### ⑤ 省エネ等診断事業

事業者の建築物などでは、省エネルギーを進めるための調査として、省エネルギー診断が実施されています。住宅では、まだこうしたニーズはないため進んでいませんが、墨田区において以下のように進めていきます。

#### 住宅、建築物の簡易診断

- ・省エネルギーセンターで住宅に対する省エネルギーの無料診断を実施しています。
- ・墨田区では、省エネナビモニター事業を実施しており、このモニターの中から希望者を対象に省エネ診断事業の連携を進めていきます。

## ⑥ 環境にやさしい建築物の選択サポート

新規に住宅等建築物を購入する際に、環境にやさしい建築物の選択方法や、判断基準などの情報を提供します。

## ⑦ 公共交通機関・自転車の利用促進

自動車から排出される二酸化炭素排出量の重要な対策として、他の機関への代替があげられます。具体的には、鉄道、バスなどの公共交通機関の利用や、自転車、徒歩などでの移動を促進します。

## ⑧ 緑化の推進とヒートアイランド対策

### 屋上壁面緑化の普及啓発

- ・建物の立体緑化（屋上・壁面緑化）の推進
- ・空き地の緑化推進
- ・一定規模以上の建設事業に対する緑化指導

### 屋上緑化助成制度

- ・墨田区では、新たに屋上を緑化した民間建築物の所有者に、1平方メートルあたり1万円か工事費の半額の少ない額（最高40万円まで）を補助しています。

### 緑のへい(生垣や植樹帯)の設置助成制度

- ・墨田区では、道路に面した箇所に新たに緑の塀を設置した方に対して、最高40万円までの補助金を交付しています。

### 地上部緑化の推進

- ・墨田区は住宅や商工業地が密集しているために、緑地の面積を一朝一夕に拡大するのは難しい状況にあります。当面は屋上緑化に代表される立体的緑化の推進をめざしつつ、区民の緑化意識を高め、将来的に面的緑化を拡大していきます。

### 熱交換塗料・遮熱性塗装の普及啓発

- ・熱交換塗料は従来型塗料とは異なり、太陽光による熱エネルギーを運動エネルギーとして消費する機能を持っており、建築物に塗布することで、外壁の温度上昇を抑えることができます。結果として、室内の温度上昇の緩和も期待されます。

## ⑨ 交通システムの改善

自動車をはじめとする運輸の温室効果ガス排出の削減にあたっては、クリーンエネルギー自動車等の温室効果ガス排出の少ない自動車に買い換えたり、エコドライブなど燃費の良い運転を心がけたりする対策のほかに、交通量そのものを減らす「しくみ」をつくる対策があります。

例えば、自転車への転換を促すための交通環境の整備や、レンタサイクルの整備、また、循環バスなどを整備することで、区民がこれまで買い物などで利用していた自動車を環境負荷の小さい別の交通手段に替えてもらうしくみづくりを検討します。

### レイル・アンド・ライド等の推進

- ・自動車利用を減らすため、鉄道の利用を前提として、そこからの移動交通手段を準備し、他に乗り換える施策を検討します。例えば、以下のような施策が考えられます。
  - ☆レイル・アンド・ライド：主要駅から低公害車の循環バスに乗り換える。
  - ☆レイル・アンド・バイク：主要駅からレンタサイクルに乗り換える。
  - ☆パーク・アンド・バイク：新タワーエリアなどの駐車場からレンタサイクルに乗り換える。

### 区内循環バス運行の検討

- ・レイル・アンド・ライド等の移動手段の一つである区内循環バスを、新タワーエリアや、区内主要駅、区内の主要なポイント間での運行を検討します。

### 自転車の利用を促進するまちづくり

- ・レイル・アンド・バイク等の移動手段の一つである自転車の利用を促進するために、交通環境を整備することを検討します。
- ・レンタサイクルのシステムを民間とともに整備します。
- ・放置自転車対策、自転車駐車場の整備に民間とともに取り組みます。

### 船着場の整備

- ・水上交通を利用してもらうため船着場を整備します。

## ⑩ 環境教育

区民や事業者の環境学習を進めていくために、環境学習の場を整備し、環境学習プログラムを作成し、効率的に推進していくための体制を整備します。

### 環境学習の場の整備

- ・総合的な環境体験学習の拠点として環境ふれあい館を整備・運営
- ・エコロジースクールの整備（校庭・校舎の緑化・断熱化、省エネ推進、自然エネルギー活用、雨水利用、ピオトープなど）
- ・ホームページの充実・運営

### 環境学習プログラムの作成

- ・環境ふれあい館を拠点とした環境学習事業
  - 環境体験学習
  - 省エネ・エコライフ講座
  - リサイクル講座
  - 雨水利用講座
  - 地球環境講座
  - 環境学習出前講座
  - 環境啓発情報刊行物発行
  - 環境専門研修
- ・緑と花の学習園を拠点とした環境学習事業
  - 自然・緑化各種講座
  - 森林体験整備事業
- ・子どもエコクラブ・キッズISO活動などへの支援
- ・環境フェアの開催

## ⑪ 学校での環境学習

次代を担う児童や生徒に対し、地球温暖化の深刻さを教えていくことは大変重要なことであり、実際に区では副読本を配布して環境学習を進めています。

これまでの講義の形式での学習だけでなく、学校施設や環境学習施設などを活用した体験型の学習を進めます。

## ⑫ フィフティ・フィフティプログラム

区立学校において、児童・生徒や教職員が協力して省エネ活動を行い、節減できた光熱水費の半分をその学校に還元するしくみを区内の学校に導入する検討を進めていきます。

### ⑬ 3R<sup>21</sup>の推進

誰もが参加しやすい資源回収の方法や、より効率的・効果的なごみの収集・処理方法などについて、区・区民・事業者等が協働して対策に取り組んでいきます。

#### 区民・事業者による3Rの実施

- ・ごみの減量
- ・資源回収事業
- ・生ごみのリサイクル
- ・大規模事業所でのリサイクル
- ・小規模事業所リサイクルシステム

#### 3Rの普及啓発事業

- ・ごみ減量・リサイクル普及啓発、講座

#### 区・区民・事業者等の協働による3R

- ・集団回収への支援

### ⑭ 雨水利用の推進

雨水の貯留、浸透及び利用は、水資源の節約、都市型洪水の低減、地域水循環の再生及び地域防災用水の確保だけでなく、ヒートアイランド対策という点でも重要な役割を持っています。これを社会のしくみとしていくために、以下の対策に取り組みます。

#### 雨水利用の導入支援

- ・雨水利用促進助成及び雨水の貯留・浸透指導

#### 雨水利用のネットワーク拡充

- ・雨水利用を進める産官学民の連携を強化

#### 雨水利用での国内外の水危機打開への貢献

- ・雨水利用国際貢献事業

#### 雨水利用の取り組み支援

- ・雨水利用技術者養成講座
- ・雨水利用技術開発支援

21 3Rとは、Reduce（リデュース：減らす）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再資源化）の頭文字をとったもので、ごみを減らし、循環型社会を構築していくためのキーワードである。

## ⑮ 人材育成

区民の中から地球温暖化対策について啓発・普及する人材を育成します。

### エコライフサポーター

- ・地球温暖化を中心に環境問題に対する知識と行動力をもったボランティアを広げます。

### リサイクルリーダー

- ・リサイクルを中心にゴミなどの環境問題に対する知識と行動力をもったボランティアを広げます。

### グリーンコンシューマー※

- ・環境への負荷の少ない買い物をするグリーンコンシューマーを広げます。

### 様々な人材の登用

- ・環境に関する専門的な知識・技術を有する人材を登録し、イベントなど求められるところへ紹介します。

(注)「グリーンコンシューマー」とは、商品・サービスを選ぶ際に環境を重視する消費者のこと

## (2) 事業者への支援

### ① 区による情報発信

墨田区では、ホームページやパンフレットにて、温室効果ガス削減に向けた普及啓発を実施していますが今後一層の普及啓発のため、以下のような情報提供を充実させていきます。

#### 温室効果ガス削減技術・省エネルギー技術・新エネルギー技術・ヒートアイランド対策技術

- ・トップランナー機器<sup>22</sup>
- ・建築物（熱交換塗料・遮熱性塗装の普及啓発、高断熱化）
- ・再生可能エネルギー（太陽光発電、太陽熱利用、風力発電）
- ・低燃費車、クリーンエネルギー自動車
- ・屋上緑化、壁面緑化
- ・道路の保水性舗装 など

#### 機器、設備の運用改善

- ・冷暖房の設定温度
- ・自転車や公共交通機関の利用
- ・アイドリングストップ、エコドライブ

#### 情報源情報

- ・補助金の情報（高効率給湯器）など

### ② 省エネ診断・ESCO 事業取り組み支援

省エネルギー対策の取り組み方が分からない事業者のために、事業所の状況に応じた適切な省エネルギー対策にかかわる情報を提供します。

また、民間や公共の事業所の一部では、エネルギーの消費状況や関連する設備をチェックした上で、具体的な省エネルギー改善策と、それを実施した場合に期待できる省エネルギー効果を提示する「省エネ診断」や、省エネルギーを実施しながら運用コストの低減で設備投資を回収する「ESCO 事業」が実施されています。省エネ診断士や ESCO 事業者は限られていることから、区に相談窓口を設置し、省エネ診断士や ESCO 事業の実施対応可能な事業者を紹介します。

（注）ESCO（Energy Service COmpany の略。エスコと読む）事業とは、工場やビルの省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、それまでの環境を損なうことなく省エネルギーを実現し、さらにはその結果得られる省エネルギー効果を保証する事業です。また、ESCO の経費はその顧客の省エネルギーメリットの一部から受取ることも特徴となっています。

<sup>22</sup> 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」（省エネ法）で指定された特定機器に設けられた、省エネルギー性能の向上を促すための目標基準をトップランナー基準といい、このトップランナー基準を満たす機器をいう。

### ③ 自動販売機対策

自動販売機は24時間稼働しており、飲料品の販売機などは、夏季は主に冷やし、冬季は主に暖めていることから相応のエネルギー消費が生じています。区内に設置されている、またはこれから設置される自動販売機に対して、以下のような対策を講じていきます。

#### 省エネルギー型自動販売機導入支援

- ・自動販売機にはすでに国によりトップランナー基準の対象機器に指定されています。区内に新たに設置される自動販売機に対しては、このトップランナー基準を上回る効率の機器のみ設置するよう事業者には義務づけることを検討します。
- ・事業者への情報提供等の支援を検討します。
- ・関東百貨店協会では、協会加盟全店舗において共同配送などの物流効率化の取り組みを実施しており、相応の効果を上げています。このような取り組みについてポトラーを対象に実験的に試し、区内での効率的運送をめざします。

### ④ 環境マネジメントシステムの認証取得支援

区内事業者が、ISO14001<sup>23</sup> やエコアクション21<sup>24</sup>、エコステージ<sup>25</sup>、グリーンプリンティング<sup>26</sup>といった環境マネジメントシステムの認証を取得することを支援します。

### ⑤ 交通システムの改善

自動車をはじめとする運輸の温室効果ガス排出の削減にあたっては、クリーンエネルギー自動車等の温室効果ガス排出の少ない自動車に買い換えたり、エコドライブなど燃費の良い運転を心がけたりする対策の他に、交通量そのものを減らす「しくみ」をつくる対策があります。

例えば、自転車への転換を促すための交通環境の整備や、レンタサイクルの整備、また、循環バスなどを整備することで、区内事業者が、単なる移動目的で利用していた自動車を環境負荷の小さい別の交通手段に替えてもらうしくみづくりを検討します。

#### レイル・アンド・ライド等の推進

- ・自動車利用を減らすため、鉄道の利用を前提として、そこからの移動交通手段を準備し、他に乗り換える施策を検討します。例えば、以下のような施策が考えられます。
  - ☆レイル・アンド・ライド：主要駅から低公害車の循環バスに乗り換える。
  - ☆レイル・アンド・バイク：主要駅からレンタサイクルに乗り換える。
  - ☆パーク・アンド・バイク：新タワーエリアなどの駐車場からレンタサイクルに乗り換える。

23 ISO14001は、組織活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった、環境パフォーマンスの改善を実施するしくみが継続的に運用されるシステム構築に必要な事項を規定する国際標準規格

24 エコアクション21は、中小企業、学校、公共機関などに対する環境への取組に関する認証・登録制度であり、中小企業等でも容易に取り組める環境経営システムとして知られている。

25 エコステージは、ISO14001の意図を踏まえつつ、それを補完し発展させ、更に高度な経営管理システムの実現をも可能にする認証制度

26 グリーンプリンティングは、日本印刷産業連合会の「オフセット印刷サービス」グリーン基準を達成し、認証を取得すれば認定マーク（GPマーク）を印刷物に表示できる制度



#### 区内循環バス運行の検討

- ・レイル・アンド・ライド等の移動手段の一つである区内循環バスを、新タワーエリアや、区内主要駅、区内の主要なポイント間での運行を検討します。

#### 自転車の利用を促進するまちづくり

- ・レイル・アンド・バイク等の移動手段の一つである自転車の利用を促進するために、交通環境を整備することを検討します。
- ・レンタサイクルのシステムを民間とともに整備します。
- ・放置自転車対策、自転車駐車場の整備に民間とともに取り組みます。

#### 船着場の整備

- ・水上交通を利用してもらうため船着場を整備します。

### ⑥ 3Rの推進

誰もが参加しやすい資源回収の方法や、より効率的・効果的なごみの収集・処理方法などについて、区・区民・事業者等が協働して対策に取り組んでいきます。

#### 区民・事業者による3Rの実施

- ・ごみの減量
- ・資源回収事業
- ・生ごみのリサイクル
- ・大規模事業所でのリサイクル
- ・小規模事業所リサイクルシステム

#### 3Rの普及啓発事業

- ・ごみ減量・リサイクル普及啓発、講座

#### 区・区民・事業者等の協働による3R

- ・集団回収への支援

#### 地域リサイクルの人材育成

- ・リサイクルリーダー養成講座

## ⑦ 雨水利用の推進

雨水の貯留、浸透及び利用は、水資源の節約、都市型洪水の低減、地域水循環の再生及び地域防災用水の確保だけでなく、ヒートアイランド対策という点でも重要な役割を持っています。これを社会のしくみとしていくために、以下の対策に取り組みます。

### 雨水利用の導入支援

- ・ 雨水利用促進助成及び雨水の貯留・浸透指導

### 雨水利用のネットワーク拡充

- ・ 雨水利用を進める産官学民の連携を強化

### 雨水利用での国内外の水危機打開への貢献

- ・ 雨水利用国際貢献事業

### 雨水利用の取り組み支援

- ・ 雨水利用技術者養成講座
- ・ 雨水利用技術開発支援

## ⑧ 再開発地区での温暖化対策

再開発は、多くの建築物が新たに立地するため、エネルギー消費及び温室効果ガス排出量が増大することになります。しかし、再開発という機会に、省エネルギー型や二酸化炭素排出量の少ない、持続型の社会構築を想定したエリアを形成することができるチャンスでもあります。これは、墨田区の地球温暖化対策への取り組みを、区内や、対外的に PR する大変効果的なプロジェクトにもなりえます。

墨田区は新タワー建設や曳舟駅周辺の再開発などのプロジェクトが進んでおり、地球温暖化対策につながる取り組みを積極的に取り入れていきます。

### 交通需要マネジメント

- ・ 再開発地区での車の乗り入れを制限するために、低公害車の優遇政策や、レイル・アンド・ライドのしくみと、これを実現するためのシステム構築を検討します。

### 新タワーと環境共創

- ・ 新タワー建設及び押上・業平橋駅周辺地区整備事業の実施にあたり、地球温暖化対策技術を導入するよう、区が事業者を誘導していきます。

### (3) 滞在者への支援

#### ① 区による情報発信

区外からの旅行者等の滞在者が、区に何らかの情報提供を求める場合が考えられます。そうした機会に区内での環境負荷の少ない過ごし方などを紹介します。

##### 環境負荷の少ない過ごし方の紹介

- ・ホテルなどで過ごすとき
- ・観光をするとき
- ・買い物をするとき

#### ② 観光者への交通システム

区内を観光する際には、マイカーなどをなるべく利用せずに鉄道や区内循環バスなどを利用して自動車交通量を減らしていく工夫が必要です。

##### レイル・アンド・ライド等の推進

- ・自動車利用を減らすため、鉄道の利用を前提として、そこからの移動交通手段を準備し、他に乗り換える施策を検討します。例えば、以下のような施策が考えられます。
  - ☆レイル・アンド・ライド：主要駅から低公害車の循環バスに乗り換える。
  - ☆レイル・アンド・バイク：主要駅からレンタサイクルに乗り換える。
  - ☆パーク・アンド・バイク：新タワーエリアなどの駐車場からレンタサイクルに乗り換える。

##### 区内循環バス運行の検討

- ・レイル・アンド・ライド等の移動手段の一つである区内循環バスを、新タワーエリアや、区内主要駅、区内の主要なポイント間での運行を検討します。

##### 自転車の利用を促進するまちづくり

- ・レイル・アンド・バイク等の移動手段の一つである自転車の利用を促進するために、交通環境を整備することを検討します。
- ・レンタサイクルのシステムを民間とともに整備します。
- ・放置自転車対策、自転車駐車場の整備に民間とともに取り組みます。

##### 船着場の整備

- ・水上交通を利用してもらうため船着場を整備します。

### ③ ホテル・小売店等を通じた情報発信

区外からの旅行者等の滞在者との接点となるホテルや店舗において情報発信をすることは、啓発効果が大変高いことが期待できます。

#### ホテル

- ・滞在者と直接接点となる可能性が高いホテルにおいて、省エネルギーに貢献するホテルでの過ごし方や、区内での行動様式などの情報提供を進めます。

#### 買い物の心得

- ・都内では、省エネラベルの対象機器を5台以上陳列販売する事業者（特定家庭用機器販売事業者）は、ラベルの表示が義務づけられています。
- ・すでに表示されているこの省エネラベルについて、これをより強調したり、省エネラベルや省エネ性能の説明を積極的に進めたりするなど、店舗による情報提供を進めます。

## (4) 区役所等区有施設での対策

### ① 率先行動

区役所をはじめとする区有の公共施設において、区民や事業者の手本となるような地球温暖化対策に関し率先して行動します。

#### 墨田区地球温暖化防止実行計画の着実な推進

・以下の温室効果ガスの削減目標と個別の取り組み目標を着実に進めていきます。

配慮項目（大項目）	取り組み項目（中項目）
1 省資源・省エネの推進	(1) 電気、ガス、ガソリン等エネルギー使用量の削減
	(2) 水の使用量の削減
	(3) 紙の使用量の削減
	(4) OA機器や電化製品の適正利用
	(5) 空調設備の適正管理
	(6) 照明の適正管理
2 廃棄物の排出量削減の推進	(1) リサイクル、リユース、リデュースの推進
3 区が行う建築工事の環境への負荷低減	(1) 環境に配慮した施設的设计・施工等
	(2) 建築廃棄物の発生抑制と有効利用
	(3) 新エネルギーの有効活用
4 グリーン購入の推進	(1) エコマーク用品の購入
	(2) 古紙配合率が高く、低白色度の用紙の使用促進
	(3) 省エネルギー型OA機器と電化製品の導入促進
	(4) 低公害車の導入促進
5 地球環境の保全	(1) 区有車の適正使用
	(2) 緑化の推進
	(3) 区が保有する有害物質の適正管理

#### 墨田区地球温暖化防止実行計画目標値の達成

・以下の温室効果ガスの削減目標と個別の取り組み目標を着実に進めていきます。

##### (1) 温室効果ガスの削減目標

平成21年度までに平成16年度比で3%削減します。

##### (2) 個別の削減目標

取り組み項目	目標
電気の使用量	平成21年度までに平成16年度比で3%削減
ガスの使用量	平成21年度までに平成16年度比で3%削減
ガソリン等の燃料使用量	平成21年度までに平成16年度比で3%削減
水の使用量	平成21年度までに平成16年度比で3%削減
紙の使用量	平成21年度までに平成16年度比で3%削減
廃棄物の排出量（庁舎のみ）	平成21年度までに平成16年度比で3%削減

(注) 電気・ガス・ガソリン等が温室効果ガスの削減目標の対象となる発生源

#### 墨田区地球温暖化防止実行計画の改訂

エコマネージャー制度の実施

庁舎リフレッシュ計画の策定・実施

## ② 区有施設

区役所をはじめとする区有の公共施設において、地球温暖化対策を積極的に導入します。

新規施設の省エネ化

自然エネルギーの導入

既存施設設備機器の省エネ改修（ESCO 事業等の検討）

区有施設からの温室効果ガス排出量の明示

遮熱性塗装の導入

立体緑化（屋上緑化、壁面緑化）の導入

雨水利用導入

小中学校の校庭の芝生化

公園緑地の拡充

・水辺と緑の豊かな環境を整備するために、環境部門だけでなくまちづくり部門と連携して区民・事業者等の協力も得ながら、以下の事業を重点に進めていきます。

- 親水公園の整備（大横川親水公園・豎川親水公園整備）
- 公園新設・再整備
- 北十間川水辺活用構想
- 河川整備における自然環境の再生
- 荒川自然生態園の整備

街路樹の整備

## ③ 車両

区の公用車について低公害車の導入を進めていきます。

低公害車の導入促進

エコドライブの推進